

国内の情報サービス産業は、多重下請構造とそれに伴う偽装請負という難しい問題を抱えている。派遣法の改正以来労働局は本格的に請負契約や派遣契約の適正化に向けた指導を強化するようになり、さらには個人情報保護法の施行も相まって、

材不足は一向に解消される気配はなく、さらに育成しようにも単価の下落やプロジェクトの短期化によってかつてのように未経験の新人をプロジェクトに投入し、OJTで育てるといった余裕もない。

### 9カ月のOJT

内容は、同社が運営するITスクールで技術教育とともに行なう。

基づいて3カ月間の研修でJava言語などのWeb系技術と疑似開発トレーニングを実施する。ユニークなのはここから、その後同社が抱える実際のプロジェクトで同じような経験をさせる。研修を終え、1年後に研修を終え、経験を備えたWeb系エンジニアとして委託先の会社に戻る。

## 取引適正化の推進に

### プロパー社員を育成

「これまででも要請に応じた正式にメニュー化した」としている。

条件に「正社員であること」という項目が増えた。ITベンダーとしても技術者を確保したいのはやまやまだが、業界の人

このようなITベンダーの苦悩を解消すべく、うせしま企画は未経験者をプロパー社員として養成するといったユニークな取り組みを提供している既存のメニューに

「これまででも要請に応じた正式にメニュー化した」としている。

「これまででも要請に応じた正式にメニュー化した」としている。